

様式（第11条関係）
小山町議会議長 様

代表者 平野正紀

議会報告会実施報告書

開催日時	令和8年2月6日（金）19:00～20:45	
開催場所	小山町健康福祉会館 多目的ホール	
	司会者	広報広聴委員長 平野 正紀
	記録者	（総務建設委員会）石原 和美 （文教厚生委員会）牧野 恵一
	報告者	総務建設委員会 石原 和美 文教厚生委員会 牧野 恵一
参加者数	14名	
議会報告会の概要	報告 （1）町営温水プール建設事業の現状について （2）小山消防署建設事業の現状について 意見交換会（ワークショップ） 総務建設委員会 新東名開通とこれからのまちづくり 文教厚生委員会 小中一貫校化について	
意見交換会での 主な意見	総務建設委員会 別紙の通り	
	文教厚生委員会 別紙の通り	

<議会報告会の様子>



<総務建設委員会 意見交換会>



<文教厚生委員会 意見交換会>



<総務建設委員会 意見発表>

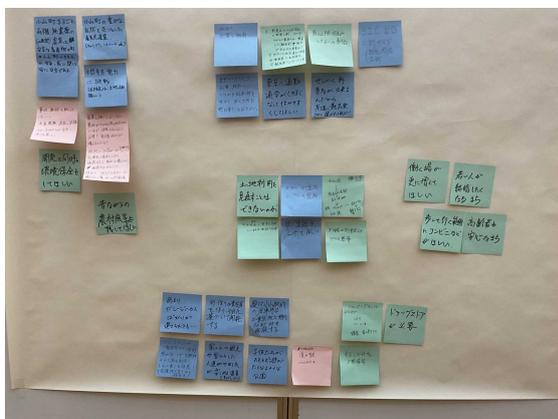


<文教厚生委員会 意見発表>

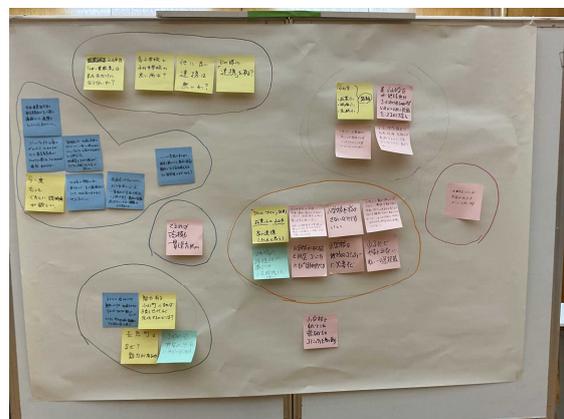


<委員会ごとのまとめ>

・総務建設委員会



・文教厚生委員会



令和7年度小山町議会報告会で町民から出た意見

小山町議会総務建設委員会

令和7年度の議会報告会を令和8年2月6日（金）に健康福社会館を会場にして開催しました。前段の「町営温水プール建設事業の現状について」の報告に続き、後段では「新東名開通とこれからのまちづくり」を総務建設委員会のテーマとし、参加者との意見交換（ワークショップ）を行ないました。

◆意見交換（ワークショップ）で出た意見◆

小山町に欲しいもの

- ・子どもたちが思わず遊びたくなるような楽しい公園
- ・富士山などに来た人がゆっくりくつろげる温泉（須走等）
- ・ドラッグストアやショッピングモール

小山町の自然について

- ・小山町の美しい農村風景を残してほしい。
- ・町には豊かな自然が沢山あるので、他県に行かずに町内で子どもたちが楽しめるよう、安全に遊べる施設を整備してほしい。
- ・有機無農薬栽培（ふれあい公園等）を進めるべき。
- ・東京から1時間、自然豊かな小山町をもっとPRし、皆さんに訪れてもらいたい。

小山町への要望

- ・働く場所を増やしてほしい。
- ・ガレージハウスが、町のあちこちに増えるのはいかがなものか？
- ・土地利用の見直しをして欲しい。中日向、上野方面は限界集落に向かっている。町づくりの青写真をつくってから開発すべき。土地利用の線引きも無くした方がいいのでは？
- ・県道山中湖線の整備をして欲しい。

小山町をどんな町にしたいか？（今後のビジョン）

- ・若者が町を愛し、この町にいたいと思い、この町で結婚したいな～と思える町に！
- ・高齢者が不便を感じず、安心して暮らせる街に！

令和7年度小山町議会報告会で町民から出た意見

小山町議会文教厚生委員会

令和7年度の議会報告会を令和8年2月6日（金）に健康福社会館を会場にして開催しました。前段の「小山消防署建設事業の現状について」の報告に続き、後段では「小中一貫校化について」を文教厚生委員会のテーマとし、参加者との意見交換（ワークショップ）を行ないました。

◆意見交換（ワークショップ）で出た意見◆

- ・小山町の子供の数は、短期的な見通しでも少なくなることは確実。
- ・少子化が進む中で、一貫校化は避けられないと思うが、小学校は各地区の象徴でもあるので残してほしい。
- ・町の考え方がわかりにくいので、丁寧な説明が欲しい。
- ・一貫校化のメリットとしては、児童・生徒の交流、ふれあいがある。
- ・スクールコミュニティーという考えがあり、地域の個性・特色を残すことにつながる。ただ、中学校区単位となると難しい。教育委員会の関わり方も限界はある。
- ・高校までの一貫校化という考えがあっても良いのではないか。
- ・最も大事なことは、長泉のように、住みたくなる、魅力あるまちづくりだと思う。